

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人一丁目1番14号
団 体 名 特定非営利活動法人フードバンクさが
代表者職・氏名 理事長 干潟 由美子
電話番号 0952-37-1300

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 特定非営利活動法人フードバンクさが

1 事業実施期間 令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

事業規模拡大と組織基盤強化のため、事務局体制を強化した。（専従職員1名とボランティアスタッフ3名の4名体制）

全国の企業・団体から44.7トンの食品を寄贈いただき、県内の支援団体を通じて33,826人の方に食品提供を行うことが出来た。これにより県内の地域に根差した食支援を行っている支援団体の活動を助け、地域福祉の向上に寄与した。また、食品ロス啓発のイベントに参加し、県民の皆様の環境問題に対する理解を深めた。あわせて、倉庫をサロンや交流の場として活用し、地域コミュニティの活性化をした。

これらの活動を通じ、地域住民や地域の多様な主体が関わることで、人と人、地域資源と人とをつなげていく重層的な支援の輪の中に、利用しやすいライフラインとして地域に根差し、「食」を入口として公的な支援につなぐことができる役割を担っていけるよう、今後も取り組みをすすめていく。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の 支出金額 (単位： 千円)
① フードバンク 事業	企業・団体、個人からの寄贈食品受け入れを行った。 *受入れ量 44.7トン	(A)通年 (B)当団体倉庫 提携倉庫、他相手企業・施設 (C)5人	(D)全国の企業、団体、個人など (E)寄贈団体118、個人寄贈173人	1000
	食支援団体を通じて必要とする方々に食品提供を行った。 *提供量 45.3トン	(A)通年 (B)当団体倉庫、提携倉庫 (C)5人	(D)県内全域の子ども、生活困窮者、ひとり親家庭、福祉施設、自立支援団体、など多数 (E)33,826人	2300
	広報及び会員募集。 また、ふるさと納税等の寄付の募集を行った。	(A)通年 (B)当団体倉庫 提携倉庫他相手企業、行政、施設等 (C)5人	(D)県内全域の個人と事業所及び団体など多数 (E)正会員56人、賛助会員57口、賛助団体35口、特別賛助団体1口	1200

	フードバンクがハブとなり合意書の提携をし、団体間のマッチングとネットワーク構築を行った。	(A)通年 (B)当団体倉庫 提携倉庫他相手企業、行政、施設等 (C)5人	(D)県内全域の子ども、生活困窮者、ひとり親家庭、福祉施設、自立支援団体、など多数 (E)合意書締結団体 寄贈団体：53 提供団体：98	200
② 食品ロス削減 啓発事業	講演会、学習会の開催及び出展、講師派遣を行った。	(A)通年 (B) (C)4人	(D)県内外の食支援団体 (E)出展4回 講師派遣4回	80
	フードドライブ実施及び他団体との協働とフードドライブ開催キットの貸し出しを行った。	(A)通年 (B) (C)5人	(D)県内外の食支援団体 (E)フードドライブ実施6回 セット貸し出し20回	100
	コロナ禍であることを踏まえ安全にコミュニティスペース活用し、会合やミーティングなどを行った。	(A)通年 (B)フードバンク倉庫 (C)5人	(D)県内外の食支援団体 (E)絆サロン1回 団体間会合100回	10

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の 支出金額 (単位：千円)
①フードバンク事業	企業・団体、個人より寄贈いただいた食品を無償で提供する。	(A)通年 (B)県内全域	1187

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	777,000	
	他受取寄付金	2,986,227	団体、個人寄付金
	受取会費	730,000	
	講師謝金	67,200	
	その他収益	34,178	出展料等
	前期繰越金	1,601,884	
	収入 計	6,196,489	
支 出	① フードバンク事業		
	地代家賃	100,000	
	賃借料	49,000	
	運搬費	21,205	
	備品購入費	10,334	
	印刷製本費	10,125	
	消耗品費	10,466	
	給料手当	2,718,108	
	法定福利費	591,879	
	保険料	13,800	
	水道光熱費	234,300	
	旅費交通費	145,800	
	会議費・会費	15,495	
	事務用品費	10,801	
	雑損	1,000	
	通信費	163,588	
	支払い手数料	8,679	
	② 食品ロス削減啓発事業		
	地代家賃	30,000	
	賃借料	17,000	
	備品購入費	5,000	
	印刷製本費	15,000	
	消耗品費	5,000	
	水道光熱費	90,000	
	事務用品費	8,000	
通信費	20,000		
返礼品等の調達に係る費用	172,472	*令和3年度ふるさと寄付金515万6千円に係る経費。以下同	
返礼品等の送付に係る費用	26,880		

	ふるさと納税の広報に係る費用	398,406	代理店に依頼（内 GCF 費用 393,456 円を含む）
	ふるさと納税の事務に係る費用	116,754	代理店に支払う手数料
	次年度繰越金	1,187,397	次年度事業費として
	支出 計	6,196,489	

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後 5 年間保存してください。